

事 項	りんご育成系統「あおり16」の特性		
ね ら い	<p>「あおり16」は昭和59年にりんご試験場で「67-45（あかね×レロ11）」に「夏緑」を交配し育成した系統で、平成5年に一次選抜、平成9年に二次選抜され、平成11年4月に現地適応性試験に供試された。</p> <p>収穫時期は8月中旬で、着色が良く、甘味が強く、お盆の時期に収穫できる極早生種として有望と見込まれるので参考に供する。</p>		
指 導 参 考 内 容	<p>1 果実特性</p> <p>(1) 熟 期：8月中旬で、熟度が不揃い。</p> <p>(2) 大きさ：240g前後。</p> <p>(3) 果 色：濃紅色で縞は無い。</p> <p>(4) 果 形：扁円形。</p> <p>(5) 食 味：果肉はやや硬く、肉質はややち密で、果汁が多く、食味は甘味が強い。</p> <p>(6) 日持ち：普通冷蔵で2週間くらい。</p> <p>2 その他の特性</p> <p>(1) 生 態：発芽日から落花日までは「ふじ」とほぼ同じ。</p> <p>(2) 樹 姿：樹姿は中間型で、結果枝は短果枝が多い。</p> <p>(3) 耐病性：斑点落葉病に対して「ふじ」より抵抗性が強い。</p> <p>(4) 交雑和合性：遺伝子型からみて、「ふじ」、「つがる」、「王林」と和合性があると考えられる。</p> <p>(5) その他：熟期が揃わないので、すぐりもぎをする。また、地色が黄色くなるまで成らせると過熟になるため、地色があがりすぎないうちに収穫する。。</p>		
期待される効果	<p>「あおり16」は8月中旬に収穫可能な極早生種で、外観や食味が良好である。現在、この時期に収穫できる有望な極早生種がなく、その空白期間を埋めることで、消費者の多様な嗜好に対応し、消費拡大につながる。</p>		
利用上の注意事項	本格的な苗木の供給は平成15年秋～16年春の見込みである。		
担 当	青森県りんご試験場 育種部	対 象 地 域	県下全域
発 表 文 献 等	果樹系統適応性・特性検定試験成績検討会資料（平成10～11年）		

【根拠となった主要な試験成績】

表1 あおり16の生態 (平成10～12年 青森りんご試)

年	品 種 名	発 芽 日	開 花 日	満 開 日	落 花 日
平成10年	あおり16	3.31	4.23	4.29	5.3
	ふ じ	4.4	4.24	5.2	5.6
平成11年	あおり16	4.11	5.6	5.12	5.19
	ふ じ	4.12	5.8	5.12	5.18
平成12年	あおり16	4.9	5.12	5.17	5.23
	ふ じ	4.10	5.14	5.19	5.24

注) 平成10年は開花が異常に早かった年

表2 あおり16の果実品質 (平成10～12年 青森りんご試)

年	収 穫 日	1 果 重 (g)	硬 度 (lbs)	糖 度 (%)	酸 度 (g/100ml)
平成10年	8.7	255	15.2	12.4	0.36
平成11年	8.14	258	16.2	14.3	0.34
平成12年	8.16	207	18.2	12.7	0.38
平 均	8.12	240	16.5	13.1	0.36

表3 あおり16の斑点落葉病抵抗性 (平成11年 青森りんご試)

品 種 名	調 査 葉 数	発 病 率 (%)	被 害 度
あおり16	15	6.7	1.1
つ が る	15	0.0	0.0
ふ じ	15	20.0	4.4
スターキング	15	100.0	80.0

表4 あおり16の交雑和合性 (平成11年 青森グリーンバイオ)

品 種 名	S 遺 伝 子 型	和 合 性
あおり16	S9SX	—
ふ じ	S9SF	○
つ が る	S3S7	○
王 林	S2S7	○